

令和6年度第2回甲府市環境審議会議事録

1. 開催日時 令和7年2月13日(木) 午後2時～

2. 開催場所 甲府市環境センター 3階 大会議室

3. 出席者

(委員)

会長：丸山正次 (山梨学院大学 名誉教授)

委員：柿嶋敦 (甲府市農業委員会 会長)

清水聡子 ((株)山梨県環境科学検査センター 技術部 検査課 課長補佐)

小澤一昭 (山梨環境カウンセラー協会 会員)

窪田清 (日本労働組合総連合会 山梨県連合会 会長)

勝岡伸圭 (甲府商工会議所 議員)

山田千恵美 (甲府市男女共同参画推進委員会 委員)

川崎靖 (甲府商店街連盟 会長)

酒井大介 (甲府市消費者問題懇話会 委員)

功刀敏男 (甲府市ボランティア団体連絡協議会 会長)

小宮山幸恵 (甲府市小中学校PTA連合会 常任理事)

欠席者：森一博 (山梨大学大学院 総合研究部 教授)

大森栄治 (山梨県 環境・エネルギー部 環境・エネルギー政策課 課長)

萩原亮 ((一社)甲府青年会議所 理事長)

清水健治 (甲府市自治会連合会 理事)

米山敏彦 (中央森林組合 代表理事組合長)

小林成光 (甲府市工業協会 会長)

(事務局)

田中環境部長、平岡環境総室長、此田環境政策課長、武内ごみ収集課長、花輪ごみ減量課長、臼井環境保全課長、小泉環境政策課環境政策係課長補佐、柴崎環境政策課温暖化対策係主任、樋口環境政策課温暖化対策係主任

4. 配布資料

資料1 第三次甲府市環境基本計画令和7年度年次計画(案)

5. 次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 第三次甲府市環境基本計画令和7年度年次計画（案）について
 - (2) その他
- 4 閉会

6. 議事要旨

事務局	(1) 第三次甲府市環境基本計画令和7年度年次計画（案）について 第三次甲府市環境基本計画令和7年度年次計画（案）について説明を行った。
委員	個別目標 1-1「自然環境の保全」取組方針「公共施設における節水や雨水利用の促進」について、庁舎では雨水利用を行っているが、雨水を利用していることを発信すれば環境意識が高まるので、検討いただきたい。 個別目標 1-2「多様な生態系の保全」取組方針「貴重植物の生態保護」について、貴重植物に限らず市内全体の植生を把握することができれば有用だと考えている。現在では、写真を撮れば動植物の名前を確認できるアプリがあり、そういったものを活用すれば市民の協力を得て生物の分布を調べることができるので、甲府市でも導入を検討いただきたい。
事務局	公共施設での雨水利用について、いただいた意見を担当課と共有し、効果的に情報発信できるよう検討する。 貴重植物の生態保護について、いただいた意見を担当課と共有する。
委員	個別目標 3-1「地球温暖化対策の推進」取組方針「太陽光エネルギーの導入促進」について、上下水道施設に設置した太陽光発電により CO2 排出量を削減するとあるが、太陽光パネルの設置及び発電開始の時期はいつか。太陽光発電パネルは何か所に設置するか。また、設置する太陽光パネルの出力はどの程度か。
事務局	令和6年度中に合計4か所に太陽光発電設備を設置し、令和7年度から運転開始する予定である。発電出力については現在検討中であるため回答できない。

委員	個別目標 3-1「地球温暖化対策の推進」取組方針「エコ通勤・エコ通学等の推進」について、歴史文化交流施設にレンタサイクルとして電動アシスト自転車を設置するとあるが、いつから提供を開始する予定か。
事務局	令和 7 年 4 月から提供開始予定となっている。
委員	個別目標 3-1「地球温暖化対策の推進」取組方針「クリーンエネルギー自動車の普及促進」について、電気自動車等普及助成金による助成の内容はどのようなものか。
事務局	電気自動車及び V2H 充放電設備等の購入者に対して補助を行っている。その他として、電気自動車の充電施設の充実も重要であると考えており、市所有の EV 充電器が現在故障中のため更新に向けて取り組んでいる。
委員	V2H 充放電設備について、過去に県でも補助事業を行っていたが、半年もたずに上限に到達してしまった。甲府市では年間どのくらいの予算を持っており、何件の申請があったか。
事務局	V2H 充放電設備導入者への補助について、10 件分の予算を持っており、令和 7 年 1 月末時点で 2 件の申請を受け付けている。
委員	個別目標 2-1「良質な大気・水等の保全」個別目標「建築物解体時における石綿（アスベスト）の飛散防止」について、アスベストは災害時にも飛散する危険が大きいが、甲府市では災害時にどのような対応を考えているか。
事務局	本市では、災害時には地域防災計画や災害廃棄物処理計画に基づき職員が対応することとなっている。災害時のアスベスト飛散に対する問題意識は持っており、職員のみならず他部署やボランティア等の手も借りながら、迅速に対応していきたい。
委員	個別目標 3-1「地球温暖化対策の推進」取組方針「太陽光エネルギーの導入促進」について、太陽光発電フィルムが開発されていると聞き及んでいる。太陽光発電フィルムであれば国内で生産できることもあり、小規模でも県内で協力しつつ導入することができれば広報にもなるので効果的と考えているが、導入を検討しているか。

事務局	<p>太陽光発電フィルムとは、ペロブスカイト太陽電池のことだと理解している。ペロブスカイト太陽電池について、国でも開発等に力を入れていることは把握しており、本市でも注目しているが、まだ実証段階であり販売されておらず、実証実験の打診を行ったが実現には至っていない。</p> <p>今後、ペロブスカイト太陽電池が入手可能になれば、積極的に導入検討を行っていきたいと考えている。</p>
委員	<p>個別目標 4-1「3R+Renewable の推進」取組方針「食品ロス削減マッチングサービスの利用促進」について、現状の利用状況はどの程度か。</p>
事務局	<p>食品ロスマッチングサービスである「甲府タベスケ」について、令和3年度から導入しており、令和5年度のタベスケを利用した食品ロス削減量は118,450グラムである。令和6年10月にアプリによる配信を開始し、11月に広報活動を行った結果、利用件数は増加している。</p>
委員	<p>甲府タベスケについて、利用店舗数と利用者数はどの程度か。また、アプリの配信を開始したとのことだが、所属している団体では把握していないので、いっそうの周知が必要ではないか。</p>
事務局	<p>甲府タベスケの登録者は、店舗で約30件、市民で約3,000人となっている。アプリの配信に伴い店舗に登録いただけるよう営業してきたが、さらなる周知方法を検討する。</p>
委員	<p>中道の農作物直売所がタベスケを使用しているが、中道以外の農作物直売所でも導入し、その利用実績などの情報を発信できれば他の利用者の参考になるのではないか。</p>
事務局	<p>現在、タベスケに登録いただいている農作物直売所は中道のみなので、中道以外の直売所にも協力いただけるよう声をかけていく。</p>
委員	<p>個別目標 3-1「地球温暖化対策の推進」について、小中学校のエアコンがガスを使用しているものと認識している。これらを電気エアコンに変えることで二酸化炭素排出量を大幅に削減できると考えているので、計画を立てていただきたい。</p> <p>また、太陽光発電の導入が行われる中で、天候の変化による停電などのリスクも考えられるが、その点について調査を行っているか。</p>

事務局	<p>小中学校のエアコンについて、ガスから電気へ変更するには多額の費用がかかるため即座に実行することは難しいが、市としても環境に配慮した施設にしていかなければならないと考えているので、大規模改修のタイミングで順次設置できないか検討したい。</p> <p>また、太陽光発電設備を設置した施設でも電力会社と送電契約し、電力が不足した場合には買電を行っている。このため、天候不順による停電のリスクはないと考えている。</p>
委員	<p>個別目標 1-2「多様な生態系の保全」取組方針「地域の実情に応じた有害鳥獣の駆除」について、ニホンジカ・イノシシの捕獲頭数はどの程度か。また、捕獲した鳥獣の有効活用を検討いただきたい。</p>
事務局	<p>毎年、山梨県が県全体の状況を調査し捕獲頭数の調整を行っている。甲府市の1年あたり計画捕獲頭数は、おおよそニホンジカ 200 頭、イノシシ 100 頭である。</p> <p>捕獲したニホンジカ・イノシシをジビエとして活用するためには、捕獲してから処理にかかる時間の関係など、課題が多いため、現在は獣害対策のみを目的として捕獲を行っている。</p>
委員	<p>個別目標 5-1「環境意識の醸成」取組方針「地域の人材育成の推進」について、育成の対象は市の職員か、民間を含むのか。地球温暖化防止活動に取り組む人材として認められる条件および具体的な育成の内容は何か。現時点で育成済みの人数は何名か。</p>
事務局	<p>地域の人材育成の推進については、市職員に限らず地球温暖化防止に取り組んでいる方を対象に、地球温暖化防止活動推進員として登録を行っている。本計画が令和 5 年度から開始となっているため、現時点の延べ人数は 12 名である。</p>
委員	<p>個別目標 4-2「廃棄物の適正処理の推進」取組方針「汚泥の資源・エネルギー利活用の検討」について、指標が「検討回数」と示されているが、これでは進捗状況等がわからないため、指標の見直しを検討いただきたい。</p>
事務局	<p>現状は、浄水場で発生する脱水汚泥を道路工事の際に再生利用する取組を行っている。指標の設定については、担当課と協議して検討する。</p>

委員	<p>野立ての太陽光発電設備について、銅線の盗難被害が発生しているが、盗品の銅線を引き取る業者を規制しなければ被害はなくならないと考えている。甲府市での銅線盗難の件数と、盗難対策の検討はどのような状況か。</p>
事務局	<p>公共施設に限っては、太陽光発電設備の銅線の盗難事例はない。現状、盗難対策は防犯カメラの設置やパトロールの実施が有効と考えている。また、盗品の銅線を引き取る業者への対策は、警察と連携し情報を集め、不審な点がある業者に対し指導等を行う。</p>
委員	<p>産業廃棄物等の保管等の事業場において、火災が起きた場合や汚水によるトラブルが発生した場合、市はどのような指導を行うのか。</p>
事務局	<p>いずれの場合も現地調査を行い、事業者から火災等の発生原因や事業場の保管等の状況を確認し、廃棄物等の不適切な保管、管理が確認された場合は、関係機関と情報共有し連携を図る中で適切な対応と再発防止対策を講じるよう指導するとともに、その後の対応状況を確認している。</p> <p>(2) その他 今後の予定等について説明を行った。</p>